

2017年度 公益目的事業計画策定

1) 事業の概要について

移動病院（病院船・病院自動車等の移動医療施設）の実現に向けた、調査・研究の実施及び成果物の発表・広報を実施してきました。

* 災害大国の我が国において、病院船の実現は国民のいのちに直結する公益に資する必須の事業である認識の下、足らざる法整備、補うべき課題を精査し、運用改善等の提案を継続する。そのためには、当法人の経営基盤の体力強化が前提とした、経営基盤強化事業を骨格に次の事業を策定する。

◆ 米国病院船マーシーを2018年に東京寄港実現のためスポンサー企業・賛同者強化事業

当該病院船の事業主体は、米国主導のパシフィック・パートナーシップによってアジア太平洋地域で人道支援・災害救援活動を長年展開している。一方、日本の国民に知らしめるプロジェクトは皆無に等しく、戦後の我が国に保有されていない病院船の現代的活動の実態を知っていただくためには、首都圏を寄港候補地とする提案を当法人は実施してきた結果、「海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟：会長 額賀福志郎衆議院議員」によって、政府の関係閣僚および在日米大使館、外交ルートで米国政府担当部署に申し入れが実現し現在、担当省庁部署と米国担当部署間で2018年の時期等の詳細協議に入った旨を報告を得た。

そこで当該病院船の2018年東京寄港と、あわせて提案者として、下記のイベント他を早急に準備する体制を整えなければならない。

1. 病院船の機能、平時および有事における運用、法制度のあり方など、国民に正しい理解の増進を図るために、災害対処、緊急事態医療対処の不備を補う活動を主導する米海軍病院船 USNS マーシーの東京寄港 2018 年を期に、広く国民に我が国保有の意義を知らしめる寄港記念イベント事業の開催。
2. 上記プロジェクトを推進するため、東京都及び東京 DMAT/25 拠点病院等含む東京消防庁、警視庁との事態対処医療訓練などと共同でメディア取材、WEB ライブ事業のスポンサー募集事業の実施。
3. 多数のメディア参加が期待でき、全国的広報効果が絶大である背景を利用して、「仮称：2020 年東京オリンピック・パラリンピック時の危機管理の在り方～日本型病院船のあり方シンポジウム」の開催（スポンサー付き主催事業）
4. 「災害医療体制強化に必要な法整備の検討」議員 VS 国民の意見交換会開催（スポンサー付き主催事業）